

(3) がん検診概要

胃がん検診

子宮がん検診

肺がん検診

乳がん検診

大腸がん検診

前立腺がん検診

胃がん検診

942事業所及び個人受診者14,918人と、ドックで4,642人、健康管理センターで11,540人の計31,100人を実施した。前年度に比べて、76人(0.24%)の増加となった。また、受診者の5.5%にあたる1,697人が要精検となり前年度より0.1ポイント高い要精検率となっている。年間の実施日数は1,563日(前年より16日の増加)で、一日当たり19.9人を実施した(表1)。

受診者総数31,100人を男女別で見ると、男性19,914人(64.0%)、女性11,186人(36.0%)と、男性が多く、女性の約1.8倍であった(図1)。

年齢階層別では、50代11,022人(35.4%)、40代10,933人(35.2%)、60代5,412人(17.4%)の順となっている(図2)。過去6年間の推移をみても50代、40代では30%台で推移し、60代以降では上昇傾向を示し、30代以下は実施要領によるものと思える(図3)。

総合健診センター 表 1 受診者数及び要精検者数

	出張検診		施設		ドック		合計		延実施日数	一日当り実施人数
	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)		
事業所	8,941	467(5.2)	5,977	268(4.5)	4,642	271(5.8)	19,560	1,006(5.1)	1,200	16.3
附属あおり健康管理センター										
事業所	2,756	158(5.7)	8,784	533(6.1)	*	*	11,540	691(6.0)	363	31.8
合計										
事業所	11,697	625(5.3)	14,761	801(5.4)	4,642	271(5.8)	31,100	1,697(5.5)	1,563	19.9
前年度	11,724	594(5.1)	14,861	819(5.5)	4,439	264(5.9)	31,024	1,677(5.4)	1,547	20.1

図 1 受診者数 (男女別)

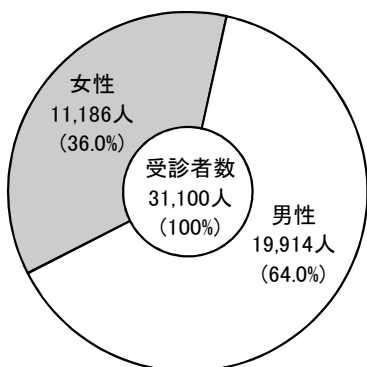


図 2 年齢階層別受診状況

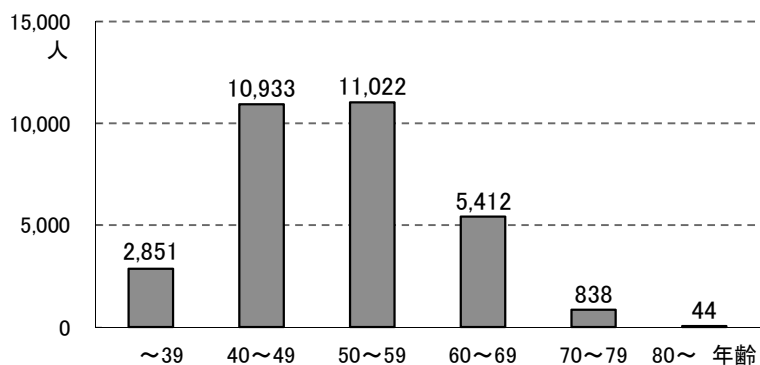
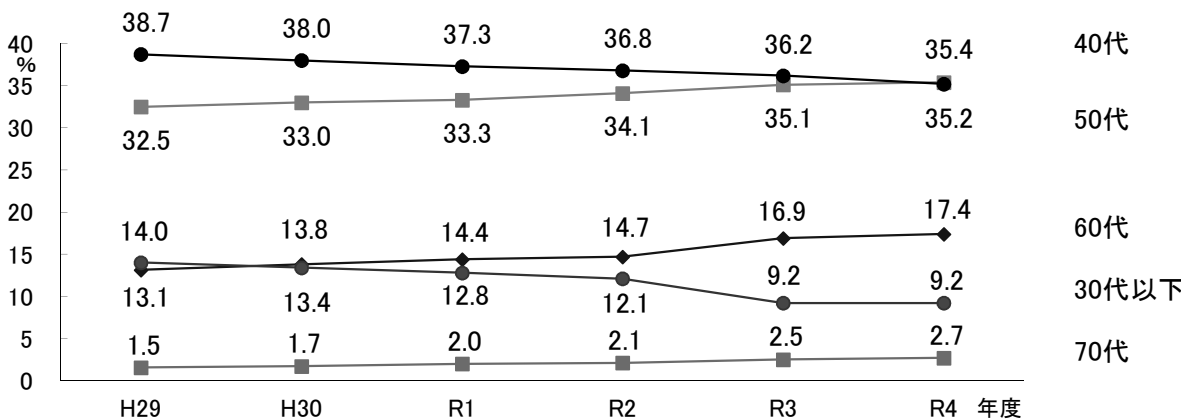


図 3 年齢階層別受診率 (平成29度~令和4年度)



<精検受診状況>

要精検者1,697人のうち精検受診者は1,196人(70.5%)で(図4)、前年より2.0ポイント減の精検受診率となった。男女別の精検受診率は、女性の76.4%に対し、男性は68.5%と女性より7.9ポイントも低かった(表2)。

また、実施主体別で見ると、市町村の精検受診率82.3%に比べ、事業所の精検受診率は70.4%、ドックでは70.8%で、それぞれ11.9ポイントと11.5ポイント低かった(表3)。

精検受診者の主な発見疾患は、胃がん発見数11人(0.04%)のうち早期がん6人、進行がん5人で、胃ポリープ146人(0.47%)、胃潰瘍24人(0.08%)、胃炎597人(1.92%)などであった(表3)(表4)(表5)。

図4 精検受診状況

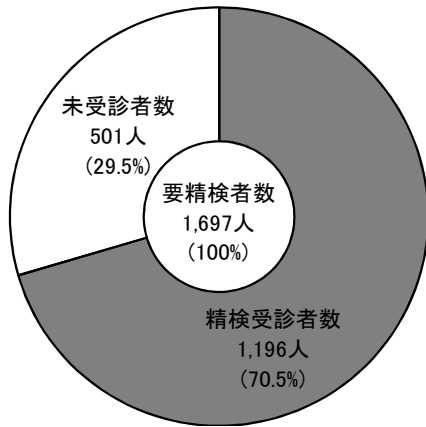


表2 精検受診状況(男女別)

	要精検者数	精検受診者数 (%)
男性	1,277	875 (68.5)
女性	420	321 (76.4)
計	1,697	1,196 (70.5)

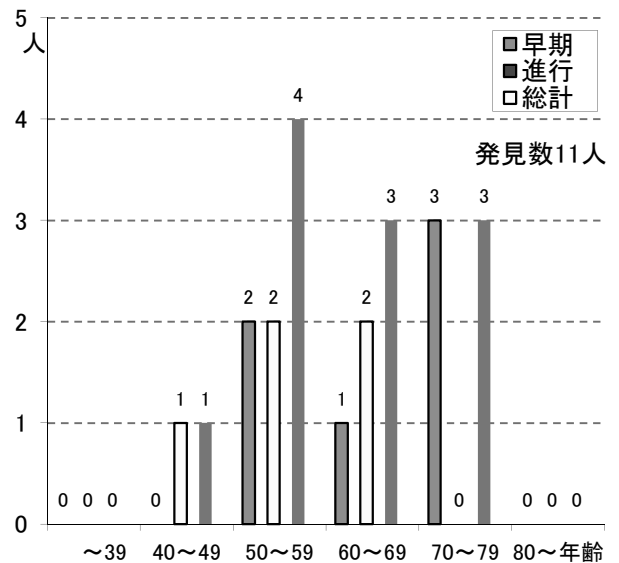
表3 主な発見疾患

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	精密検査結果											要精検者からの受診報告	
				胃がん		胃がん疑	胃ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	共存潰瘍	胃潰瘍癒痕	胃炎	その他	異常なし		計
				早期	進行											
事業所	26,458	1,426	1,004 (70.4)	9	4	5	119	22	12	0	60	517	99	150	988	16
ドック	4,642	271	192 (70.8)	2	2	0	1	27	2	0	6	80	32	32	182	10
合計	31,100	1,697	1,196 (70.5)	11	6	5	1	146	24	12	0	66	597	131	1,170	26

表4 発見がん(年齢階層別・男女別・早期進行別)

		早期	進行	男女計	合計
		~39	男 0	女 0	0
40~49	男	0	1	1	1
	女	0	0	0	
50~59	男	1	2	3	4
	女	1	0	1	
60~69	男	0	2	2	3
	女	1	0	1	
70~79	男	3	0	3	3
	女	0	0	0	
80~	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
男女計	男	4	5	9	11
	女	2	0	2	
合計		6	5		

表5 発見がん(早期進行別・年齢階層別)



子宮がん検診

275事業所及び個人受診者 1,726人と、ドックで 1,687人、健康管理センターで 1,297人の計 4,710人に実施した。なお、頸部受診者の 1.7%に当たる 80人が要精検となり、前年より 0.1ポイント減の要精検率となった(表1)。

検査方式別では、出張検診及び施設(センター)で 3,023人(64.1%)、ドックで 1,687人(35.8%)であった(図1)。前年に比べて、出張検診及び施設(センター)で87人の減、ドックで 90人の増で計 3人の増加であった。

また、一次検診における主な発見疾患は、子宮筋腫 178人(3.8%)、ポリープ160人(3.4%)などであった。

総合健診センター 表 1 受診者数及び要精検者数(頸がん)

	受診者数	要精検者数 (%)	実施日数	一日当たり実施数
出張検診	413	3 (0.7)	19	21.7
施設	1,313	20 (1.5)	75	17.5
計	1,726	23 (1.3)	94	18.4
ドック	1,687	26 (1.5)	108	15.6
合計	3,413	49 (1.4)	202	16.9

附属あおもり健康管理センター

施設	1,297	31 (2.4)	40	32.4
計	1,297	31 (2.4)	40	32.4

合計

出張検診	413	3 (0.7)	19	21.7
施設	2,610	51 (2.0)	115	22.7
計	3,023	54 (1.8)	134	22.6
ドック	1,687	26 (1.5)	108	15.6
合計	4,710	80 (1.7)	242	19.5
前年度	4,707	82 (1.7)	247	19.1

図 1 方式別受診状況

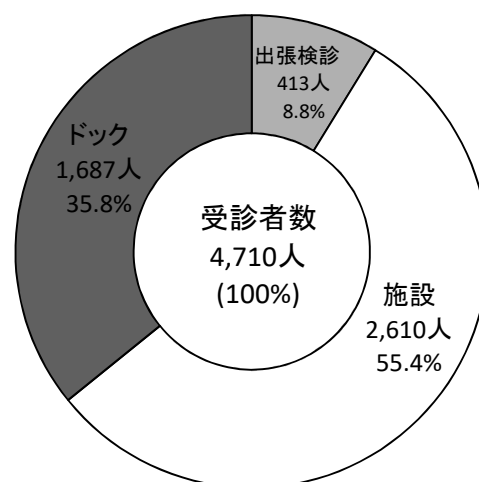


表 3 一次検診における発見疾患

	受診者数	ビ ラ ン (+)	ビ ラ ン (疑 悪 性)	膿 炎			ポ リ プ	外 腫 陰 瘤	子 宮 筋 腫	卵 巣 腫 瘤	子 宮 脱	膿 脱	そ の 他	所 見 な し
				ト ナ リ コ モ	ナ ス 症	真 菌 類 (キ ャ ン ジ ダ)								
出張検診	413						3		3			1		406
施設	2,610						68		93	2	3	3	8	2,437
ドック	1,687						89		82		80	4	16	1,499
合計	4,710						160		178	2	83	8	24	4,342

<精検受診状況>

子宮がん(頸部)検診の要精検者 80人のうち精検受診者70人(87.5%)で、前年に比べて 2.6ポイント下回った(表4)。

精検の結果、頸がんが1人で、上皮内がんが0人であった(表5)。

表 4 精検受診状況(頸部)

	要精検者数	精検受診者数(%)	発見がん
出張検診	3	2 (66.7)	
施設	51	47 (92.2)	
ドック	26	21 (80.8)	1
合計	80	70 (87.5)	1
前年度	91	68 (74.7)	(0) 1

()は体部癌等

表 5 発見頸がん(進行別・年齢階層別)

	上皮内がん	浸潤がん	合計	
			早期	進行
～29				
30～39				
40～49				
50～59				
60～69		1	1	1
70～79				
80～				
合計		1	1	1

肺がん検診

事業所及び個人受診者16,734人と、ドックで5,642人、健康管理センターで1,031人の計23,407人を実施した。前年度に比べて、173人(0.7%)の増加となった。受診者の1.7%にあたる387人が要精検となり、前年度より0.1ポイント上回った。また、肺がんX線撮影受診者22,858人のうち、ハイリスク・グループを対象に実施した喀痰細胞診検査は、事業所の対象者1,092人のうち検査者1,083人(99.2%)となり前年度と比べ0.3ポイント低く、ドックでは100%の回収となった。

なお、年間の実施日数は857日(前年より6日増)で、一日当たり27.3人を実施した(表1)。

受診者総数23,407人を男女別で見ると、男性14,854人(63.5%)、女性8,553人(36.5%)と男性が多く、女性の約1.7倍であった(図1)。

年齢階層別では、40代7,466人(31.9%)、50代7,063人(30.2%)、30代以下4,786人(20.4%)の順となっている(図2)。過去の推移をみると、30代以下、60代が上昇を示しており、他の年代は減少傾向がみられる(図3)。

健診センター 表 1 受診者数及び要精検者数

区分 主体別	胸部X線検査、CT検査		喀痰細胞診検査		実施日数	一日当たり 実施数
	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)		
出張	14,311	181 (1.3)	333	0 (0.0)	266	53.8
施設	2,423	33 (1.4)	132	0 (0.0)	176	13.8
ドック	5,642	160 (2.8)	442	0 (0.0)	213	26.5
合計	22,376	374 (1.7)	907	0 (0.0)	655	34.2
附属健康管理センター						
事業所	1,031	13 (1.3)	176	0 (0.0)	202	5.1
合計						
合計	23,407	387 (1.7)	1,083	0 (0.0)	857	27.3
前年度	23,234	365 (1.6)	1,171	3 (0.3)	851	27.3

図 1 受診者数 (男女別)

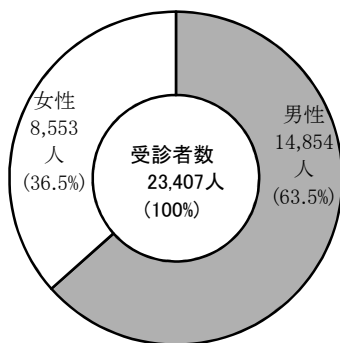


図 2 年齢階層別受診状況

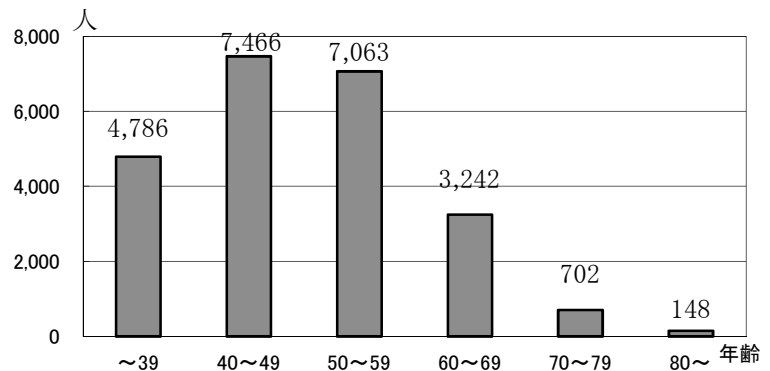
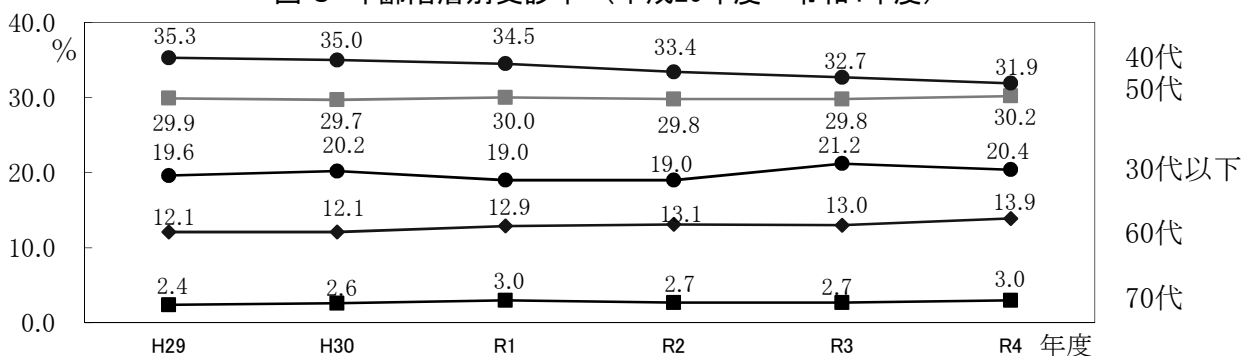


図 3 年齢階層別受診率 (平成29年度~令和4年度)



＜精検受診状況＞

X線撮影で要精検となった387人 のうち精検受診者は324人（83.7%）で（図4）、前年と比べ4.2ポイント減少であった。男女別の精検受診率は、男性の82.9% に対し、女性は85.1% と男性より2.2ポイント高かった（表2）。実施主体別でみると、ドック79.4%、事業所は86.8% であった。

また、精検受診者の主な疾患は、肺がん4人、肺がん疑14人、他呼吸器119人 であった。喀痰細胞診検査については要精検者はいませんでした。

図4 X線・CT精検受診状況

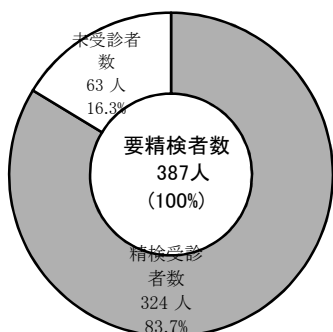


表2 X線・CT精検受診状況(男女別)

	要精検者数	精検受診者数 (%)
男性	246	204 (82.9)
女性	141	120 (85.1)
計	387	324 (83.7)

表3 主な疾患

区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精密検査結果													
				肺がん			肺がん疑	他悪性腫瘍	結核要医療	結核要観察	結核治癒	他呼吸器	循環器	他異常	異常なし		
				早期	進行	不明											
X線・CT検査	事業所	17,765	227	197	3			3	3	1	1		75	4	9	98	
	ドック	5,642	160	127	1	1	1	11	1			2	44	1	14	53	
	計	23,407	387	324	1	2	1	14	4	1	1	2	119	5	23	151	
喀痰検査	事業所	641	0	0													
	ドック	442	0	0													
	計	1,083	0	0												0	
合計		387	324	4			14	4	1	1	2	119	5	23	151		

表4 確定がん（年齢階層別・男女別・早期進行別）X線(CT含む)

区分	早期がん				計	進行がん				計	不明		合計
	男性		女性			男性		女性			男性	女性	
	X線	喀痰	X線	喀痰		X線	喀痰	X線	喀痰		X線	X線	
～ 39													
40～ 44			1		1								1
45～ 49													
50～ 54													
55～ 59						1				1			2
60～ 64						1				1			1
65～ 69													
70～ 74													
75～ 79													
80～													
合計			1		1	2				2	0	1	4

乳がん検診

事業所及び個人受診者1,127人と、ドックで2,070人、健康管理センターで1,147人の計4,344人を実施した。前年度に比べて99人（2.3%）の増となった。

受診者の7.3%にあたる319人が要精検となり前年度比で0.7ポイント高くなった。なお、年間の実施日数は349日で、一日当たり12.4人を実施した。

受診者のうち乳房画像診断のみの者は4,344人（100%）であった。

総合健診センター 表 1 受診者数及び要精検者数・経過観察者数

	実施主体	乳がん検診		検査方法			実施日数	一日当たり実施数
		受診者数	要精検者数 (%)	視触診のみ	画像診のみ	視触診+画像		
出張検診	事業所	261	20 (7.7)	-	261	-	16	16.3
施設		866	65 (7.5)	-	866	-	74	11.7
ドック	事業所	2,070	174 (8.4)	-	2,070	-	125	16.6
合計		3,197	259 (8.1)	-	3,197	-	215	14.9

附属あおり健康管理センター

施設	事業所	1,147	60 (5.2)	-	1,147	-	134	8.6
	計	1,147	60 (5.2)	-	1,147	-	134	8.6

合計

出張検診	事業所	261	20 (7.7)	-	261	-	16	16.3
施設		2,013	125 (6.2)	-	2,013	-	208	9.7
ドック	事業所	2,070	174 (8.4)	-	2,070	-	125	16.6
合計		4,344	319 (7.3)	-	4,344	-	349	12.4
前年度		4,245	279 (6.6)	-	4,245	-	334	12.7

ドックでは乳房超音波検査とX線を用いた画像診断としている

<精検受診状況>

乳がん検診での要精検者319人のうち精検受診者は284人（89.0%）で（図1）、前年と比べて1.9ポイントの増となった。精検受診者の主な発見疾患は、乳がん発見数16人（5.6%）のうち早期がん10人、進行がん4人、不明2人で、乳腺腫瘍11人（3.9%）、乳腺症35人（12.3%）などであった（表2）（図2）。また、マンモグラフィ+乳腺超音波受診者は1,531人（35.2%）で、そのうち要精検者は135人、精検受診者は119人（88.1%）、がん発見数は5例（4.2%）であった。

図 1 乳がん検診精検受診状況

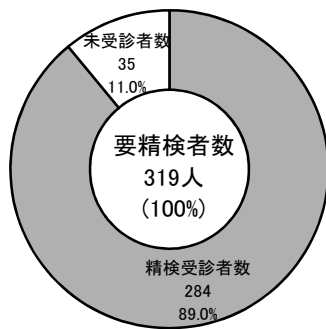
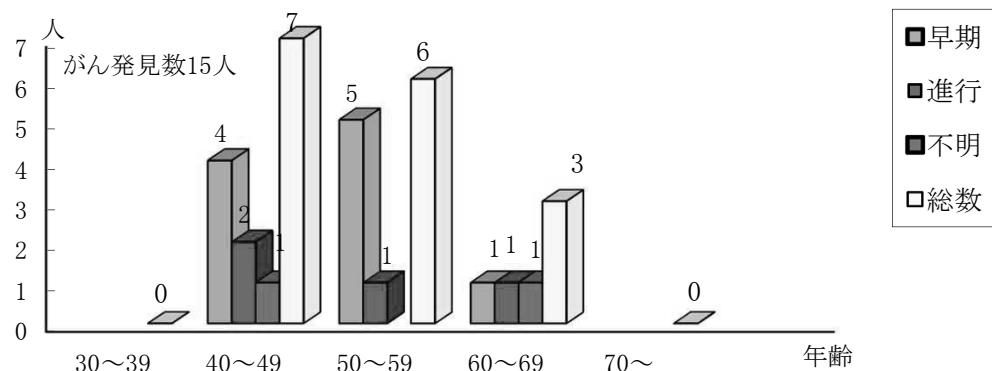


表 2 主な発見疾患

	受診者数	要精検者数	診精者数受 (%)	精密検査結果								
				乳がん			乳がん疑	乳腺腫瘍	乳腺症	線維腺腫	その他	異常なし
				早期	進行	不明						
事業所	2,274	145	128 (0.88)	9			4	10	9	41	55	
ドック	2,070	174	156 (89.7)	7			7	25	8	68	41	
合計	4,344	319	284 (89.0)	16			11	35	17	109	96	

図 2 発見乳がん(早期進行別・年齢階層別)



大腸がん検診

1034事業所及び個人受診者18,723人、ドックで5,515人、健康管理センターで14,828人の計39,066人を実施した。前年度に比べて、290人(0.75%)の増加となった。受診者の4.2%にあたる1,635人が要精検となり、前年と同数値である(表1)。

受診者総数39,066人を男女別で見ると、男性23,736人(60.8%)、女性15,330人(39.2%)で、男性が約6割を占めている(図1)。

年齢階層別では、50代13,431人(34.4%)、40代12,863人(32.9%)、60代7,476人(19.1%)の順となっている(図2)。過去6年間の推移をみても、40代、50代は30%台で推移し、それに60代が続いている(図3)。

総合健診センター 表1 受診者数及び要精検者数

	出張検診		施設		ドック		合計	
	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)
事業所	11,145	426 (3.8)	7,578	329 (4.3)	5,515	216 (3.9)	24,238	971 (4.0)
附属あおり健康管理センター								
事業所	4,092	153 (3.7)	10,736	511 (4.8)	*	*	14,828	664 (4.5)
合計								
合計	15,237	579 (3.8)	18,314	840 (4.6)	5,515	216 (3.9)	39,066	1,635 (4.2)
前年度	15,382	612 (4.0)	18,202	817 (4.5)	5,192	215 (4.1)	38,776	1,644 (4.2)

図1 受診者数 (男女別)

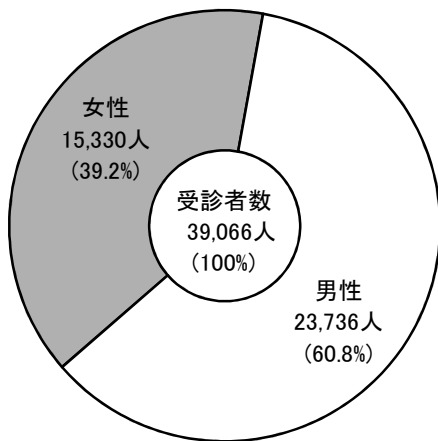


図2 年齢階層別受診状況

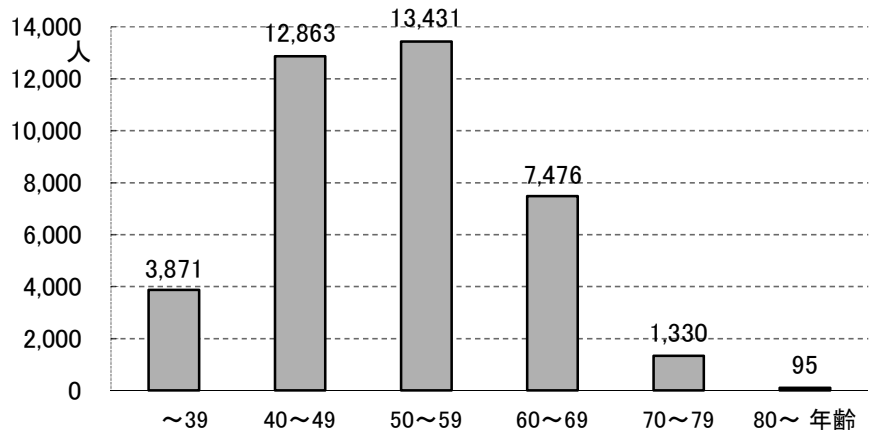
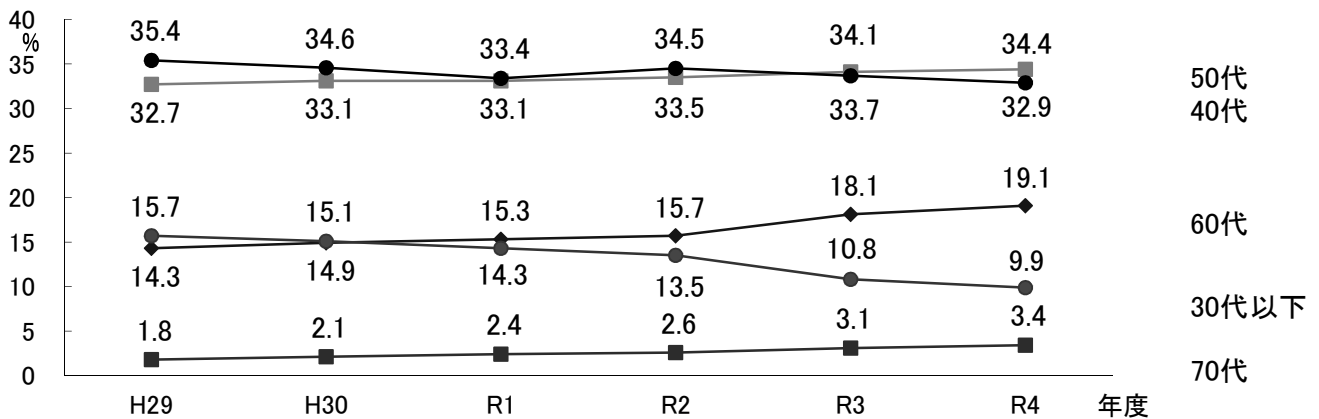


図3 年齢階層別受診率 (平成29年度~令和4年度)



〈精検受診状況〉

要精検者1,635人のうち精検受診者は1,079人(66.0%)で(図4)、前年に対し0.5ポイント低くなった。男女別の精検受診率は、女性の68.3%に対し、男性は65.0%と若干の差はあった(表2)。また、実施主体別で見ると事業所の精検受診率(66.0%)が、市町村の精検受診率(76.7%)に比べ10.7ポイント低かった。

精検受診者の主な発見疾患は、大腸がん発見数34人(0.09%)のうち早期がん24人、進行がん10人、大腸ポリープ578人(1.48%)、大腸憩室54人(0.14%)などであった(表3)(表4)(図5)。

図4 精検受診状況

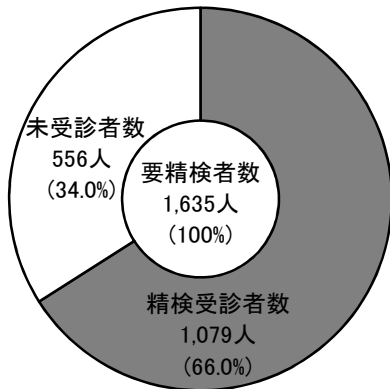


表2 精検受診状況(男女別)

	要精検者数	精検受診者数 (%)
男性	1,136	738 (65.0)
女性	499	341 (68.3)
計	1,635	1,079 (66.0)

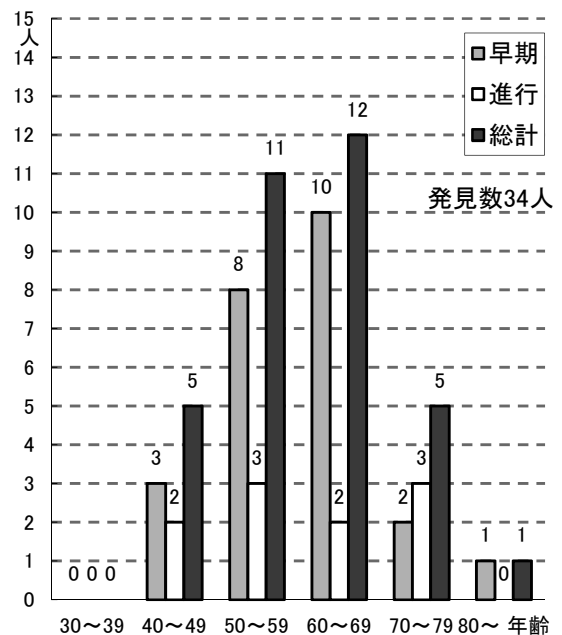
表3 主な発見疾患

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	精密検査結果										要精検者からの受診報告本人		
				大腸がん			大腸がん疑	大腸ポリープ	大腸憩室	大腸炎	痔	その他	胃疾患		異常なし	計
				早期	進行	不明										
事業所	33,551	1,419	914 (64.4)	29	1	483	45	26	48	17	0	234	883	31		
ドック	5,515	216	165 (76.4)	5	1	95	9	7	11	1	0	34	163	2		
合計	39,066	1,635	1,079 (66.0)	34	2	578	54	33	59	18	0	268	1,046	33		

表4 発見がん(年齢別・男女別・早期進行別)

		早期	進行	不明	男女計	合計
40~49	男	1	1		2	5
	女	2	1		3	
50~59	男	6	3		9	11
	女	2			2	
60~69	男	9	2		11	12
	女	1			1	
70~79	男	1	3		4	5
	女	1			1	
80~	男				0	1
	女	1			1	
男女計	男	17	9	0	26	34
	女	7	1	0	8	
合計		24	10	0		

図5 発見がん(早期進行別・年齢別)



前立腺がん検診

197事業所及び個人受診者4,684人と、ドックで3,127人、健康管理センターで2,025人の計9,836人を実施し、前年度より185人(1.9%)の増だった。また、受診者の3.6%にあたる358人が要精検となった。なお、年間の実施日数は929日で、一日当たり10.6人を実施した(表1)(表2)。

実施にあたっては原則として50歳以上を検診の対象者とした。
 年齢階層別では、50代3,188人(32.4%)、60代2,688人(27.3%)、70代1,529人(15.5%)、40代1,583人(16.1%)、80代以上331人(3.4%)、39歳以下517人(5.3%)となっている(図1)。

健診センター

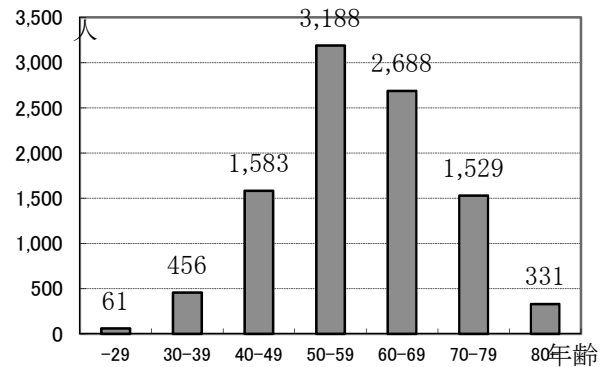
表 1 受診者数及び要精検者数

	出張検診		施設		ドック		合計		実施日数	一日あたり 実施数
	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)		
事業所	3,810	155 (4.1)	874	42 (4.8)	3,127	91 (2.9)	7,811	288 (3.7)	719	10.9
附属あおもり健康管理センター										
事業所	471	19 (4.0)	1,554	51 (3.3)	*	*	2,025	70 (3.5)	210	9.6
合計										
合計	4,281	174 (4.1)	2,428	93 (3.8)	3,127	91 (2.9)	9,836	358 (3.6)	929	10.6
前年度	4,138	185 (4.5)	2,486	99 (4.0)	3,027	100 (3.3)	9,651	384 (4.0)	915	10.5

表 2 年齢階層別要精検者数

区分 年齢別	受診者数	正常	要精検			
			4.0未満	4.0~10.0	10.1~20.0	20.1~50.0
~29	61	61				
30~39	456	456				
40~49	1,583	1,571	12			
50~59	3,188	3,118	65	5		
60~69	2,688	2,551	120	11	5	1
70~79	1,529	1,417	100	9	3	
80~	331	304	24	2	1	
合計	9,836	9,478	321	27	9	1

図 1 年齢階層別受診状況



〈精検受診状況〉

要精検者358人のうち精検受診者は229人(64.0%)であった。精検受診者の主な発見疾患は、前立腺がん発見数26人(0.3%)のうち早期がん17人、前立腺肥大症134人(1.4%)などであった(表3)(表4)(図2)。

表 3 主な発見疾患

	受診者数	要精検者数	精検受診者数率	精密検査結果					
				前立腺がん			前立腺肥大	その他の疾患	異常なし
				早期	進行	不明			
事業所	6,709	267	176 (65.9)	20			100	11	45
ドック	3,127	91	53 (58.2)	6			34	2	11
合計	9,836	358	229 (64.0)	26			134	13	56

表4 発見がん(年齢別・早期進行別)

	早期	進行	不明	合計
40~49			1	1
50~59	3		1	4
60~69	4	3	1	8
70~79	10	1	1	12
80~		1		1
合計	17	5	4	26

図2 発見がん(早期進行別・年齢別)

